

平成 6 年度支部総会報告 (2)

中部支部

- 日 時：平成 6 年 3 月 12 日 (土)
- 議 題：1. 平成 5 年度事業報告
- 1) 総会：平成 5 年 3 月 13 日
  - 2) 運営委員会：同上
  - 3) 幹事会：平成 5 年 4 月 16 日, 6 月 19 日, 9 月 18 日, 平成 6 年 2 月 24 日
  - 4) 研究発表会：平成 5 年 3 月 13 日
  - 5) 定例講演会：平成 5 年 12 月 11 日
  - 6) 研究会 5/15, 6/19, 7/19, 9/18, 10/16, 11/20
  - 7) 講演会 1 月 22 日
  - 8) 見学会 4 月 16 日, 10 月 19 日, 11 月 12 日

2. 平成 5 年度収支決算書

自 5 年 3 月 1 日 至 6 年 2 月 28 日 (円)

| 科 目    | 予 算      | 決 算      |
|--------|----------|----------|
| 収入合計   | 620,000  | 619,341  |
| 支出合計   | 598,510  | 598,082  |
| 当期運営残高 | 21,490   | 21,259   |
| 前期繰越金  | △ 21,490 | △ 21,490 |
| 次期繰越金  | 0        | △ 231    |

平成 5 年度下記書類を提出いたしますからご監査されたくお願いいたします。

- 記
- 1 事業報告書
  - 2 収支決算書
- 監査報告書

上記の書類の監査を行ないましたところ、適正であることを認めここにご報告します。

平成 6 年 3 月 8 日 社団法人日本 OR 学会中部支部  
支部長 田中庸平 殿  
監 事 岩田 怜, 日比野康文

3. 平成 6 年度事業計画

支部総会… 1 回 運営委員会… 1 ~ 2 回  
幹事会… 数回 支部研究発表会… 1 回

OR 学会定例講演会… 1 回 支部講演会… 1 回  
事例研究会… 1 回 研究会… 数回 見学会… 1 ~ 2 回  
支部ニュースの刊行… 10 回 三学会共催行事… 1 回

4. 平成 6 年度予算 (円)

| 科 目  | 金 額     |
|------|---------|
| 収入合計 | 594,169 |
| 支出合計 | 594,169 |

5. 平成 6 年度 支部役員

- 支 部 長 沢木勝茂 (南山大学)
- 副支部長 中川覃夫 (愛知工業大学) 小谷重徳 (トヨタ自動車)
- 運営委員 安達公一 (名古屋工業大学) 飯田次生 (日本ガイシ) 岩田 怜 (名鉄コンピュータサービス) 大野勝久 (名古屋工業大学) 大鋳史男 (愛知工業大学) 菊田健作 (富山大学) 玉置光司 (愛知大学) 辻 紘良 (豊田中央研究所) 中田友一 (中京大学) 中村正治 (名古屋銀行)
- 監 事 田中庸平 (中部電力) 日比野康文 (愛知学院大学)
- 幹 事 中井恵一 (中部品質管理協会) 前田茂智 (名鉄コンピュータサービス) 田中吉弘 (トヨタ自動車) 鈴木敦夫 (南山大学) 増山 繁 (豊橋技術科学大学)
- 顧 問 小野勝次 (名古屋大学名誉教授)

東北支部

- 日 時：平成 6 年 5 月 31 日 (火)
- 議 題：1. 平成 5 年度事業報告
- 1) 支部総会：平成 5 年 5 月 18 日 (火)
  - 2) 運営委員会：同上
  - 3) 幹事会：平成 6 年 4 月 28 日 (火)
  - 4) 講演会 3 回

2. 平成 5 年度決算

1) 貸借対照表 (単位：円)

| 借 方 |         | 貸 方    |         |
|-----|---------|--------|---------|
| 科 目 | 金 額     | 科 目    | 金 額     |
| 預貯金 | 185,538 | 当期収支差額 | 185,538 |
| 合 計 | 185,538 | 合 計    | 185,538 |

2) 収支決算書 自5年3月1日 至6年2月28日  
(単位: 円)

| 科 目     | 予算金額    | 決算金額    |
|---------|---------|---------|
| 収 入 合 計 | 334,794 | 334,280 |
| 支 出 合 計 | 334,794 | 148,742 |
| 当期収支差額  | —       | 185,538 |
| 次期繰越金   | —       | 185,538 |

#### 監査報告書

「平成6年度日本OR学会東北支部通常総会」の次の議案については、総会資料の通りであることを、ここに報告いたします。

#### 「議案」

- ・「平成5年度事業報告」
- ・「平成5年度決算報告」

平成6年5月10日

日本OR学会東北支部 監 事 千葉雅保  
監 事 関田康慶

### 3. 平成6年度事業計画

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1) 総 会……1回   | 2) 運営委員会……随時 |
| 3) 幹事会……随時   | 4) 講演会……2回程度 |
| 5) 研究会……3回程度 | 6) OR普及活動    |
| 7) 会員増強      | 8) 会報発行      |

### 4. 平成6年度予算 (単位: 円)

| 科 目  | 予算金額    | 前年予算    | 増 減     |
|------|---------|---------|---------|
| 収入合計 | 461,838 | 334,794 | 127,044 |
| 支出合計 | 461,838 | 334,794 | 127,044 |

### 5. 平成6年度支部役員

支 部 長 佐藤晃郎 (東北電力)  
副支部長 奈良 久 (東北大学) 山本 保 (東北コンピュータ・サービス)

運営委員 荻野正浩 (21世紀政策研究会) 木村正行 (先端技術大学院) 熊谷和夫 (東日本興業) 後藤義雄 (河北新報社友) 宮地昭夫 (東北地方建設局) 小野寺惇 (日本IBM情報システム) 鈴木義也 (東北大学) 土肥幹夫 (NTT東北支社) 高橋幸雄 (東京工業大学) 竹内 清 (石巻専修大学) 田中謙輔 (新潟大学) 手島恒男 (会津大学) 石川明彦 (岩手大学) 中舘勝栄 (通研電気工業) 渡利千波 (東北学院大学) 岩田恒一 (石巻専修大学) 御園生善尚 (日本大学) 福山年昭 (東北コンピュータ・サービス) 鈴木宏輔 (東北電力)

監 事 千葉雅保 (河合塾文理学院) 関田康慶 (東北大学)

幹 事 長 武藤滋夫 (東北大学)

幹 事 神 正照 (東北工業大学) 鈴木久才 (東北地方建設局) 鈴木康彦 (福島大学) 瀬戸口良三 (帝京大学) 佐藤 進 (東北電力) 熊本義信 (日本IBM情報システム) 佐々木 貴朗 (NTT東北支社) 小野 滋 (東北電力) 石川明彦 (岩手大学) 谷内正文 (東北学院大学) 青木 茂 (日本電話帳開発) 増田 聡 (東北大学) 大西匡光 (東北大学)

## 北海道支部

日 時: 平成6年4月4日(月)

### 議 題: 1. 平成5年度事業報告

- 1) 総会 平成5年4月2日(金)
- 2) 運営委員会……2回
- 3) 研究会……2回
- 4) 講演会 平成5年12月16日
- 5) 普及活動

### 2. 平成5年度決算

1) 貸借対照表 平成6年2月28日現在

| 借 方 |         | 貸 方    |         |
|-----|---------|--------|---------|
| 科 目 | 金額 (円)  | 科 目    | 金額 (円)  |
| 現 金 | 362,675 | 前期繰越   | 763,263 |
| 預 金 | 500,000 | 当期運営残高 | 99,412  |
| 合 計 | 862,675 | 合 計    | 862,675 |

### 2) 収支決算書

自) 平成5年3月1日 至) 平成6年2月28日

| 科 目     | 予算額     | 決算額     |
|---------|---------|---------|
| (収支の部)  |         |         |
| 本部交付金   | 237,600 | 275,600 |
| 参加費     | 90,000  | 56,000  |
| 利息収入    |         | 2,913   |
| ①合計     | —       | 334,513 |
| (支出の部)  |         |         |
| ②合計     |         | 235,101 |
| ③当期運営残高 | —       | 99,412  |
| ④前期繰越金  | —       | 763,263 |
| ⑤次期繰越金  | —       | 862,675 |

### 3. 平成6年度事業計画

- 1) 研究会……1～2回      2) 講演会……1～2回  
3) 普及活動

### 4. 平成6年度予算

| 収 入 |           | 支 出 |           |
|-----|-----------|-----|-----------|
| 科 目 | 金額 (円)    | 科 目 | 金額 (円)    |
| 合 計 | 1,205,675 | 合 計 | 1,205,675 |

### 5. 平成6年度支部役員

支 部 長 猿谷厚朋 (北海道電力)

運営委員 浅利英吉 (北海道文理科大学) 五十嵐日出夫 (北海道大学) 伊藤正義 (北海道工業大学) 大内 東 (北海道大学) 大堀隆文 (北海道工業大学) 河口至商 (北海学園大学) 川向史矩 (北星学園大学) 北川正彦 (札幌市交通局) 木村俊一 (北海道大学) 佐藤馨一 (北海道大学) 関口恭毅 (北海道大学) 高野伸栄 (北海道大学) 田中嘉浩 (北海道大学) 谷口君雄 (北海道自動車短期大学) 千葉博正 (北海道自動車短期大学) 堂柿栄輔 (北海学園大学) 長津行高 (北陵ジー・アール・シー工業) 沼田 久 (小樽商科大学) 長谷川淳 (北海道大学) 山村悦夫 (北海道大学) 若林信夫 (小樽商科大学)

幹 事 行方常幸 (小樽商科大学) 大柳俊夫 (札幌医科大学) 後藤 薫 (北海道電力) 菅野和幸 (北海道電力㈱)

監 事 中村隆志 (小樽商科大学)

顧 問 加地郁夫 (北海道工業大学教授) 戸田一夫 (北海道電力取締役会長) 三浦良一 (北海道大学名誉教授)



## 研究部会報告

### ●システムと最適化●

#### ・第6回

日 時: 4月1日(金) 14:30～17:00

場 所: 鳥取大学工学部社会開発システム工学科

テーマと講師: (1)「サーバーの劣化を考慮した待ち行列システムについて」小柳淳二, 河合 一 (鳥取大学工学部)

サーバーが指数時間感覚で次第に劣化していき、故障に至るような待ち行列システムを、マルコフ決定過程として定式化を行ない、サーバーの最適保全政策の構造について考察した。意思決定者は客のサービス終了時点に

においてシステムの状態を観測し、サーバーの予防修理を開始するかあるいはそのままサーバーを使用し続けるかを決定できるものとする。このような劣化サーバーを持つ待ち行列システムにおいて、総期待割引コストを最小化する最適保全政策が、システム内人数とサーバーの劣化状態のそれぞれについて単調な構造を持つことを示した。

(2)「ソフトウェアの最適リリース問題に関する一考察」木村光宏, 山田 茂 (鳥取大学工学部)

ソフトウェア開発の最終段階であるテスト工程では、テストの進捗状況の把握とユーザにソフトウェアを引き渡すのに最適な時期を決定することが重要である。これはソフトウェアの最適リリース問題と呼ばれ、従来の考え方をまとめた。その上で、ソフトウェア信頼度成長モデルによる信頼性評価結果の開発管理への応用の1つでもあるコスト評価基準による最適リリース問題を議論した。特に、ソフトウェアのライフサイクルの現在価値を考慮して、これを最小にする最適方策を導出できた。